

令和5年度 第1回 岐阜県教育委員会教員育成協議会 議事概要

1 開催日時・場所

令和5年5月31日（水）15:00～16:50

岐阜県総合教育センター 第2棟1階 第1研修室

2 協議事項 公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する「教員の研修履歴の記録の範囲、内容及び指導助言等の仕組み全般」について

【主な意見】

研修履歴の記録の範囲について

- 先生の中には、県が実施する研修だけではなく、NITS（独立行政法人教職員支援機構）等のオンライン研修に積極的に参加したり、学会等の発表で成果を上げたりしている人もいる。このように、自主的に深い学びをしている人の履歴も、記録の範囲とするといよいのではないか。
- 教師の個性をいかすという側面から、各教師のとんがっている部分・頑張っている部分（教師の強み・よさ）を履歴として残せるようにするとよいのではないか。
- 「教師が自主的に参加する研修等」を記録することによって、教師自身がその内容を振り返って成長を実感できるのではないか。モチベーションの維持や向上にもつながる。
- 「学校現場で日常的な学びとして行われる一定の校内研修・研究等」については、一律に研修履歴を作成することになじまない側面があることから、履歴の範囲に入れる必要がないのではないか。

研修履歴の記録の内容について

- 経年研修や職務研修など悉皆の研修等において、研修名が一覧となっているだけの記録では活用が難しい。今年度その先生が頑張りたいと思っている目標などがあるとよいのではないか。
- 過去の履歴を見て自分の成長を実感できるよう、研修名だけでなく、学んだ内容や振り返りが履歴に残るとよい。
- 先生方と面談をしていると、管理職と各教員の認識にズレがあると感じる。面談でズレが把握できるよう、研修履歴の記録には学んだ内容等があるとよい。
- 研修時にどのようなことを感じたか、どのような学びをしたかが記録されていれば、後から自分自身の記録を見たときに成長を実感することができる。研修受講時の気付きや学びを残していけるとよい。
- 「『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」と受講した研修とが関連付けて記録に残せるとよい。
- 十数年前の履歴よりも、その方が過去にどのようなキャリアを経てきたか（教務主任、生徒指導経験等）の方が参考になる。
- 現在行っている還元度アンケートのようなものが履歴に残っていくとよい。
- 新しくデータを集めるのではなく、今収集しているデータをどう活用するか（履歴の

内容として残していくか) を考えていけるとよい。できるだけ負担が増えないようにすることが重要である。

資質の向上に関する指導助言等の仕組み全般

- 研修履歴をどのように活用していくかが大切。
- 動機付けとして履歴を活用することもできる。
- 管理職との対話を通じて学びをどう促進するかという視点だけではなく、一人一人の教員がモチベーションを高めたり、個人で履歴に残したいものを残したりできるような、教員個人の視点があるとよいのではないか。
- 管理職としては、教員研修申込システムを利用して研修の承認をしたり確認をしたりしている。しかし、期首面談に研修履歴を活用することは、年度当初の忙しい時期であり、研修申込期間も年度始まって間もないため難しそう。
- 期首面談よりはむしろ期末面談に、一年間の学びを振り返り来年度に向けての話として履歴の活用ができると思う。
- 自分で履歴に残したい研修（教師が自主的に参加する研修等）については、自らが自らの意思で記録できるようにするとよい。
- 学びたい先生方の負担にならない仕組みにしてほしい。
- 研修履歴も、個人で見ることができると管理職が見ることができるとに分けられるとよい。